

大阪府統一国保問題 緊急学習会

10月25日、大阪は事業費納付金・標準保険料率(統一保険料率)第2回試算を当初8月末としていた期限を2カ月も遅れて公表しました。

<http://www.osaka-syahokyo.com/16kokuken/s20171025.pdf>

この試算は2月に公表された第1回試算とほぼ変わりません。既に提示されている新たな公費1700億円のうち400億円しか反映されず、保険者努力支援制度も反映していません。さらには今回の試算の目的である「激変緩和」の試算もされていないというもので、この半年、大阪府は一体何をしていたのかとそしりをうけても仕方がない試算だと言わざるを得ません。

しかも、大阪社保協に対して約束していた「説明会」も多忙なことを理由に断ってくる始末です。大阪社保協としては24日に事務レベルでのレクを受けることとし、その内容を反映した緊急学習会を企画しました。大阪府に事前に提出した質問内容は別紙です。

12月地方議会にむけての取り組みについても意思統一を行いたいと思います。ぜひご参加ください。

★とき 2017年11月27日(月)18時30分～20時半

★ところ 大阪府保険医協会M&Dホール <https://osaka-hk.org/access/>

★資料代 500円

★主催 大阪社会保障推進協議会

fax06-6357-0846 メール osakasha@poppy.ocn.ne.jp

★資料印刷の関係上、事前にfaxでお申し込みください。

.....

2017.11.27 大阪府統一国保都道府県単位化問題学習会

ふりがな
お名前

団体・地域社保協・職場名

連絡先 Tel

fax

大阪府国民健康保険課へ「第 2 回事業費納付金・標準保険料率試算」にあたっての質問

2017.11.24 大阪社会保障推進協議会 事務局長 寺内順子

1. そもそも 8 月末試算公表というスケジュールが、なぜ 2 ヶ月も遅れたのでしょうか。
2. 資料 1 について
 - ① 来年度からの追加公費 1700 億円のうち、なぜ 400 億円しか反映していないのでしょうか。
 - ② 保険者努力支援制度については、都道府県分、市町村分の具体的な配分が出され、平成 28 年度実績も出されていますが、なぜ反映していないのでしょうか。
 - ③ 今回、激変緩和の試行という目的で全国的には第 3 回試算が行われていますが、なぜ激変緩和試算をしていないのでしょうか。
 - ④ 各市町村の保険料過年度収納分をなぜ納付金計算で反映するのでしょうか、また「一部」とありますが、どれだけ反映しているのでしょうか。割合をお知らせください。
 - ⑤ 『今後のスケジュール』で次回試算が 12 月となっていますが、全国ベースでは 11 月です。なぜ 12 月なのでしょうか。また、12 月であれば上旬、中旬、下旬のいずれでしょうか？
また、12 月中に本当に試算はできますか。
3. 資料 2 について
 - ① なぜ今回も「粗い試算」となっているのでしょうか。2 月時点での第 1 回試算とどう違うのでしょうか。
 - ② 第 1 回試算においては 3 ページ「粗い試算」に「H28 年の繰入等あり(現状)」と「繰入れないものとした場合(府による激変緩和の対象範囲)」とした標記の仕方をしてしていますが、今回はなぜそのようなしなかったのでしょうか。
4. 資料 3-1 について
 - ① 参入している経費の資料 4 以外の具体的な金額の提示をお願いします。
5. 資料 5 の各市町村の所得割の元データとなる市町村ごと被保険者の平均所得データの提示をお願いします。
6. 直近の大阪府市長会での意見とりまとめはどうなっているのでしょうか。
7. 法定意見聴取を終え、市町村からどのような意見がだされているのでしょうか、「統一」で意思統一しているのでしょうか。見直しをお聞かせください。